



広げよう！つなげよう！

地域支え合い活動紹介②9

王滝村では、社協でメニュー登録され活動しているボランティアさんはもちろん、地域のために自主的な支え合い活動を行っている方も大勢いらっしゃいます。地域のみなさんの活動の中から一部をご紹介します。

☆地域の支え合い活動

野口サロン お茶飲まん会

野口サロンは、年に2回、野口区のお年寄りや若い世代が集まってレクリエーションや食事会などを通して交流する会で、地区の有志の方々が自主的に企画・運営されているサロンです。

今年度は、9月に郡内旅行に出かけたり、社協の職員から介護保険についてのお話を聞いたり、11月には手芸でポーチづくりを楽しみました。野口サロンに参加する方は、高齢の皆さんを中心に、身近な地区での交流をととても楽しみにされています。みなさんの地区でも活動の輪が広がるといいですね。

～活動の様子～



手芸とおしゃべり



みんなて歌



手作り料理で食事会

☆登録ボランティア

食の会 ～ひとり暮らしよりまい会で 昼食作り (1/16)

王滝食の会では、地域での食に関するイベントへの協力や、若い世代への郷土食の伝承活動を行っています。

今回は、1月に開催したひとり暮らしのみなさんの新年交流会にご協力いただきました。野菜の天ぷらや漬物、寒い冬にうれしい「ほうとう」など美味しい料理をたくさん作っていただき、参加された皆さんもとても喜んでくださいました。いつもご協力ありがとうございます。



「会食会」のボランティアさん 募集中！

社協では、75歳以上のみなさんをお招きし、お食事や演芸、レクリエーションを楽しんでいただく“会食会”を開催しており、今年度も参加されるみなさんのためにお弁当をご用意する予定です。そこで、

お弁当づくりなどでお手伝いしていただけるボランティアさんを募集しています。

- ◆ 開催日時：2月15日（土） 午前11時～
- ◆ 場 所：保健福祉センター
- ◆ 内 容：調理のお手伝い（当日8時30分頃～、前日（14日）午後）、演芸・レクの出演、補助など

お手伝いいただける方は、お手数ですが2月7日（金）までに社協までご連絡ください。

社協：※※48-2008（担当：栗原）

災害支援活動紹介

～被災地へ手作りの温かさを届けよう～ 『ねこはんでん（なぎそねこ）作り』

南木曾町で、昔から親しまれてきた「なぎそねこ」。着なくなった着物の生地を綿を詰めて作られる伝統的な防寒具ですが、同町に住む吉村早苗さんは、若い人にも気軽に着てほしいと、カラフルな柄を取り入れたものを作っていて、全国からも注文が来る町の名物になっています。

昨年1月に能登半島地震が発生すると、吉村さんは被災地に駆けつけ、800着以上を無償で被災者やボランティアさんに提供しました。「とてもぬくぬくで心が温まる」「人のぬくもりを感じる温かさ。手放せない」など、感謝の声をたくさんいただいたそうです。今から10年ほど前に発生した南木曾町土石流災害の際、全国各地からいろいろな支援物が届いたり、ボランティアの方が来てくれるなど、たくさんの支援に吉村さんは今でも感謝されていて、いつか自分も誰かを支援したいとの思いが今回の活動のきっかけでした。

現在、長野市ボランティアセンターでは、能登半島被災地支援として、「ねこはんでん」を作って被災者へお届けする活動を行っています。吉村さんの思いや行動が、他地域の方々の活動へつながっていき、支援活動の輪が広がっています。

（NHK長野WEB特集より）

